

第 8 回 通 常 総 会 記 録

日 時 昭和52年6月11日 午後1時

場 所 富山市新総曲輪2番23号
昭 和 会 館 ホ ー ル

健康な村づくりに資することを目的に調査研究をすすめております当研究所に対し、熱心な会員諸氏と関係諸団体のご援助によりまして、着実にその成果をあげつつあります。

本年度の実績は、会誌第8巻で発表いたしております。

本総会は、76名の出席者と82通の委任状で定刻に開催し、議案審議もとどこおりなく進められ、富山県立技術短大教授 安立原 貫氏の特別講演「農村・農家の“豊かさ”“貧しさ”」を拝聴し、無事終了いたしました。

議 事 の 概 要

○会 員 数 218名 うち出席76名、委任状82通

○会 長 挨拶 豊 田 文 一

○議 長 選 任 上市厚生病院 越山 健二氏選出

○議事録署名者及び書記指名

議事録署名者 小矢部市 矢部 貴男 永見市 村田 栄信

書 記 柳井 道之 西川 藤樹

○議 事

第1号議案 昭和51年度事業報告、財産目録、収支決算承認について

事業の概況と主なる行事の報告に併せ財産目録及び収支決算について承認を得た。

第2号議案 昭和52年度事業計画、収支予算案承認について

昭和52年度の事業計画並びに収支予算案を説明し承認を得た。

第3号議案 役員の一部変更並びに定款の一部変更について

第4号議案 顧問の一部変更について

第3号議案、第4号議案一括審議し、役員及び定款の一部変更、顧問の一部変更が承認され、下記のとおり決定した。

(定款一部変更) 理事定数20名を25名とする件、了承を得て3名増員した。

県厚生部(研究機関) 末 永 良 治

公立病院関係 高 桜 英 輔

開業医関係 北 川 鉄 人

(役員の一部改選)

旧

新

富山県厚生部次長 谷 久 重 (転任) 高 野 正 義

富山県農業普及課長 堀 田 了 (転任) 丸 山 玉 樹

富山県医務課長 嘉 藤 友 作 (転任) 針 山 清 一

特 別 講 演

富山県立技術短期大学教授 足立原 貫氏

演 題 「農村・農家の“豊かさ”“貧しさ”」 講演録1頁～8頁掲載

事業報告書

昭和51年4月1日～昭和52年3月31日

昭和51年度終了にあたり、ここに事業の概況ならびに決算関係諸表について御報告申し上げます。

本研究会創立以来8年の歳月を経まして、会員各位の絶大な御努力により、本県における農山村の実態を医学的に調査研究、さらにそれを基礎としての健康管理についての実施を続けてまいりました。

本年度は昨年引き続き糖尿病の疫学的調査、さらにその要因についての検討を重ねて参りました。また農山村婦人の貧血についても、その追跡調査の成績もまとめ、健康増進に大きな役割を演じたと思われま

す。勿論事業計画に基づきまして、それぞれの分野において貴重な業績をあげられたことは、喜びに耐えません。

なお特筆すべきことは、本年度は懸案でありました農民の健康会議を初めて開催し、健康な農山村を築くため、農民の皆さんと忌憚のない意見交換を行ない、本研究会事業推進のため貴重な示唆を与えられました。今後も県下各地において開催する予定でありますので、御協力の程お願い申し上げます。

ここに第8年度を終了に当りまして、会員各位の御理解と御協力に深謝し、さらに第9年度も農民の健康を守るため一段の努力を重ねる所存であります。

主なる行事

年月日	主なる行事	
51. 5. 11	編集委員会	会誌校正
51. 5. 12	専門委員	糖尿病調査第2年度の計画（尿糖陽性者及びGTT陽性者の取扱いについてアンケート調査実施決定）
51. 5. 24	第1回役員会	51年度総会開催について及び附議事項
51. 6. 5	第7回通常総会	於 昭和社会館ホール 午後1時
51. 6. 16	専門委員会	糖尿病アンケート調査の内容詳細に検討 アンケート発送
51. 8. 12	第2回役員会	農民健康会議について 糖尿調査中間報告について
51. 12. 7	第3回役員会	会誌原稿募集について 糖尿病調査について(アンケート中間報告) 農民健康会議について
51. 12. 22	専門委員会	糖尿病アンケート調査の状況と検討及び追跡調査の在り方について討議
52. 2. 1	第4回役員会	会誌の編集方針について 糖尿病調査の状況、中間報告、健康会議開催の打ち合せ
52. 2. 4	編集委員会	会誌編集、校正について
52. 2. 7	専門委員会	糖尿病アンケート調査の実態及び病院を対象とした糖尿病患者の実態調査について その内容、調査方法など討議
52. 2. 26	第1回富山県農民健康会議	於 井波町農協
52. 2. 27	"	於 婦中町農協

財産目録

昭和52年3月31日

内 訳	金 額	
預 金	36,137	
計	36,137	

富山県農村医学研究会

昭和51年度 収 支 決 算 書

自 昭和51年4月1日 ~ 至 昭和52年3月31日

項 目	予 算 額	実 績	差 引 残 高
会 費 取 入	60,000	50,100	△ 9,900
会 費	60,000	50,100	△ 9,900
援 助 取 入	3,870,000	3,870,000	0
助 成 金	1,620,000	1,620,000	0
特 別 負 担 金	2,250,000	2,250,000	0
雑 取 入	29,881	35,007	5,126
雑 取 入	29,881	35,007	5,126
前 期 繰 越	44,119	44,119	0
収 入 計	4,004,000	3,999,226	△ 4,774
会 議 費	406,000	403,235	△ 2,765
総 会 費	150,000	125,190	△ 24,810
役 員 会 費	156,000	167,243	11,243
専 門 委 員 会 費	50,000	63,830	13,830
編 集 委 員 会 費	50,000	46,972	△ 3,028
事 業 費	3,235,000	3,217,604	△ 17,396
研 究 調 査 費	1,615,000	1,598,440	△ 16,560
研 究 集 会 費	50,000	35,000	△ 15,000
雑 誌 発 行 費	1,500,000	1,550,000	50,000
通 信 費	40,000	34,164	△ 5,836
消 耗 品 費	20,000	0	△ 20,000
備 品 、 什 器	10,000	0	△ 10,000
旅 費 交 通 費	200,000	219,250	19,250
旅 費 交 通 費	200,000	219,250	19,250
事 務 費	150,000	120,000	△ 30,000
事 務 費	150,000	120,000	△ 30,000
雑 費	10,000	3,000	△ 7,000
雑 費	10,000	3,000	△ 7,000
子 備 費	3,000	0	△ 3,000
子 備 費	3,000	0	△ 3,000
費 用 計	4,004,000	3,963,089	△ 40,911
次 期 繰 越		36,137	

昭和52年度 事業計画

昭和52年4月1日～昭和53年3月31日

1. 農村の職業性疾患の調査研究
農夫症を中心とする農村の地域環境に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究
とくに騒音及び振動の影響調査
3. 健康管理についての調査研究
農民の健康状態の把握と保健指導
農民の健康管理の調査研究
農民の成人病実態調査とその対策に関する検討
農民の糖尿病の調査研究
4. 農民の健康会議の実施
5. 農村の特殊疾患の調査研究
伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
6. 農村における社会医学的研究
社会環境の変動による農民の健康に及ぼす影響についての調査研究
都市近郊農村の社会医学的研究
7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
8. 乳幼児ならびに学童に対する健康対策
9. その他目的達成に必要な事項

昭和52年度収支予算書

自 昭和52年4月1日 ~ 至 昭和53年3月31日

収 入 の 部			
項 目	子 算 額	内 訳	
会 費 収 入	60,000		
会 費	60,000	会費 200人×300円	
援 助 収 入	6,350,000		
助 成 金	1,800,000	県費助成金	
特 別 負 担 金	4,550,000	農協各連負担金	
雑 収 入	23,863		
雑 収 入	23,863	預金利息その他	
前 期 繰 越	36,137		
合 計	6,470,000		

支 出 の 部			
項 目	子 算 額	内 容	
会 議 費	500,000		
総 会 費	160,000	会場借上料、資料代	
役 員 会 費	180,000	年12回会場借上料他15,000円×12回	
専 門 委 員 会 費	80,000	委員会開催費用	
編 集 委 員 会 費	80,000	雑誌編集委員会費用	
事 業 費	3,475,000		
研 究 調 査 費	1,755,000	研究調査費、学会参加旅費	
研 究 集 会 費	50,000	健康会議会場借上料、その他会場設備費、資料及び案内状、印刷代、講師謝礼、集会雑費	
雑 誌 発 行 費	1,600,000	年1回 500部	
通 信 費	40,000	電話代、切手代他	
消 耗 備 品 費	20,000	事務用消耗品その他	
備 品、什 器	10,000		
旅 費 交 通 費	230,000		
旅 費 交 通 費	2,250,000	役員会旅費、専門委員会旅費	
事 務 費	2,250,000		
事 務 費	10,000	職員1名	
雑 費	10,000		
雑 費	5,000		
子 備 費	5,000		
子 備 費	5,000		
合 計	6,470,000		

望まれる調査研究事項

1. 農夫症、ビニールハウス病等の職業性疾患について
2. 農業用機械、自動車等による産業災害に関する調査研究
3. 労働時間、休憩時間、作業強度、作業姿勢等の健康におよぼす影響についての調査研究
4. 農民の年齢、性その他の身体的諸条件に応じた作業法（たとえば婦人労働、老人労働など）についての調査研究
5. 農民の使用する毒物、劇物、農薬等に関する中毒学的試験および検査ならびに安全使用法、健康におよぼす影響等必要な調査研究
6. 人畜共通伝染病についての調査研究
7. 農民の健康状態の把握とそれに応じた保健指導、医療確保（医療施設の整備、医師等の医療従事者の確保）など、農山村の健康管理についての調査研究
8. 衣生活および住生活、活動と休養、体格と機能の生理衛生ならびに健康増進方法についての調査研究
9. 農民の食生活の実態および米、塩等、農民が多量に摂取する食品の栄養学的研究
10. 農山村における水道、下水道、汚物処理、そ族こん虫等の環境衛生に関する調査研究ならびに住宅その他地域計画の保健衛生に関する分野の調査研究
11. 農村保健に関する衛生統計、社会統計等の諸統計や各種データ収集、解析および資料の編さん
12. 伝染病、風土病および農村特有の多発性疾患の疫学について
13. 農村における社会医学的問題の調査研究
14. 農村における人口動態、人口移動、人口年齢構造など人口現象について
15. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
16. その他農山村保健の推進のため必要な調査研究

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（高岡市永楽町5番10号 富山県厚生連内）

投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字Mocacus rhesus, 山椒藻Salvinabatah 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図書は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右 6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図書の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献

1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52. 5のごとく。）
2. 単行本の場合 著者名；標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学研究会誌第9巻をお届け致します。

近年人工肥料による土地の消耗が叫ばれ、自然肥料の見直しがなされています。こうした動きは、自然保護の立場からも洵に喜ばしいことと言えますが、半面糞尿の利用ということから寄生虫病の蔓延を招きはしないかという声が先般の役員会で聞かれました。

歴史は繰返すと申しますが、悪い歴史は繰返さないよう努力することこそ肝心と思いますが如何でしょうか。

ひと頃騒がれた農夫症も最近は余り耳にしなくなりましたが、実態はどうなっているかチト気になる処です。

望まれる調査研究として16項目が掲げられて居りますが、農村・農業における健康問題に関するあらゆる情報の交換の場でありたい……これが私達の本誌によせる夢です。

今後とも会員各位の御活躍と御投稿を切に祈り上げます。

Y. H.

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第9巻 昭和53年3月25日印刷・昭和53年3月31日発行
高岡市永楽町5番10号・富山県厚生連内 電 話 高岡(0766)21-3930
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩 井 久 作
印 刷 所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
